

第4回 沖縄の新たな交通環境創造会議 を開催します

- 日 時：令和元年9月9日（月） 14：00～
- 場 所：那覇第2地方合同庁舎2号館 2階 災害対策室
- 議 事：・早期成果実現課題に対する取り組みの概要について
・その他施策の取り組みの概要
・意見交換
- 要 旨：「第2回沖縄の新たな交通環境創造会議」の議論を経て選定した「早期成果実現課題（6テーマ）」等の取り組み状況及び今後の取り組み予定について確認を行う。
- ① 渋滞ボトルネック対策
・交差点改良の渋滞緩和効果の紹介等
 - ② 基幹バスの導入、バス網再編
・ハイグレードバス停や基幹バス導入に向けた取り組みの紹介等
 - ③ バス運行定時性の確保
・バスレーン延長の取り組みについて紹介等
 - ④ バスターミナル等の整備促進
・那覇バスターミナル整備やモノレール延長による交通結節点の紹介等
 - ⑤ 道路空間の再編（国際通り）
・国際通りの渋滞緩和に向けた取り組みの紹介等
 - ⑥ 県民意識への効果的な働きかけ
・令和元年度わった～バス大実験の予定について
- その他：カメラ撮りについては、冒頭のあいさつまで撮影可能です。

【問い合わせ先】

内閣府 沖縄総合事務局 TEL098-866-0031(代)

開発建設部 道路建設課

道路建設課 課長 おおしろ 大城 てるひこ 照彦 (内:4211)

課長補佐 こめす 米須 としひこ 俊彦 (内:4216)

ホームページ：<http://www.dc.ogb.go.jp/kaiken/>

沖縄の新たな交通環境創造会議の開催について

1. 趣旨

平成 28 年 11 月に「沖縄の道路渋滞対策と新たな交通環境を考える有識者懇談会」でとりまとめられた提言「沖縄の新たな交通環境の創造に向けて」においては、ハード整備のみならず、ソフト対策、県民意識まで踏み込んだ多岐にわたる示唆に富む内容が盛り込まれており、沖縄の新たな交通環境の創造に向けた出発点として大きな意義がある。

これら施策の実現にあたっては、国、県、市町村の各行政機関が、相互の連携を一層密にしつつ、関係するバス事業者、モノレール事業者などの交通事業者、民間企業、ひいては県民との連携協力も強化し、関係者が問題意識を共有しながら、強い意志をもって継続的に取り組んでいくことが極めて重要である。

新たな交通環境の創造に向けた実効ある取組を、すべての関係者が連携協力して具体化し、推進していくため、「沖縄の道路渋滞対策と新たな交通環境を考える有識者懇談会」提言を受けて「沖縄の新たな交通環境創造会議」を開催する。

2. 構成員

会議の構成員は、別紙のとおりとする。ただし、大臣が必要と認める場合には、構成員を追加することができる。会議は必要に応じてその他の関係者の出席を求めることができる。

3. 会議の役割

沖縄における新たな交通環境を創造するため、関係機関及び関連協議会等の取組をふまえながら、今後の方針等について議論を行う。

4. 庶務

会議の庶務は、政策統括官（沖縄政策担当）及び沖縄振興局の協力を得て、沖縄総合事務局にて処理する。

5. その他

前各項目に定めるもののほか、会議の運営に関する事項その他必要な事項は、会議において別に定める。

「沖縄の新たな交通環境創造会議」委員名簿

No.	委員名	区分	所属	備考
1	安里 昌利	座長	一般社団法人 沖縄県経営者協会 特別顧問 (那覇空港ビルディング株式会社 社長)	
2	有住 康則	副座長	国立大学法人 琉球大学 名誉教授	
3	川上 好久	委員	沖縄振興開発金融公庫 理事長	
4	宮城 力	〃	沖縄県企画部 部長	
5	小川 吾吉	〃	一般社団法人 沖縄県バス協会会長	
6	島袋 俊夫	〃	沖縄県市長会 会長	
7	城間 幹子	〃	那覇市長	
8	下地 明和	〃	旭橋都市開発株式会社 代表取締役社長	
9	東 良和	〃	日本旅行業協会 理事	
10	美里 義雅	〃	沖縄都市モノレール株式会社代表取締役社長	
11	與儀 弘子	〃	沖縄県公安委員会 委員	

〔五十音順〕